

小中一貫教育校 大泉桜学園の取組

施設一体型小中一貫教育校 大泉桜学園では、第1学年から第9学年（中学校3年生）までの9年間を見通した教育を行っています。

発達段階に応じて、第1～4学年をⅠ期、第5～7学年をⅡ期、第8・9学年をⅢ期としています。第5・6学年では、第7～9学年と同じ西校舎で50分授業を実施したり、社会や理科等で教科担任制による授業を行ったりするなど、指導体制を工夫しています。また、第4学年がⅠ期のリーダーとして縦割り遠足や委員会活動で活躍してい



9学年合同で行う運動会



第1学年と第8学年の交流給食の様子

ます。さらに、学校行事を通じた異学年交流を充実させています。入学式は第1・7学年合同で、卒業式は第6・9学年合同で行っています。運動会や桜祭（音楽会）などの行事は、9学年合同で行っています。また、部活動や児童生徒会活動には、第5～9学年が一緒に取り組んでいます。

平成29・30年度には、小中一貫教育研究校として練馬区の指定を受け、児童生徒が自ら学びを進め、高め合う小中一貫教育の在り方について研究を深めました。今後も研究を進めていきます。

小中一貫教育に関するQ&A

Q1 小中一貫教育を実践している小学校に入学すると、連携先の中学校に進学しなければならないのですか。

A1 通学区域の指定や学校選択制の利用により、連携先以外の中学校にも進学することができます。

Q2 どのグループでも同じような小中一貫教育を行うのでしょうか。

A2 それぞれのグループが、中学校区の特徴や実態、課題を踏まえた学習指導の改善や生活指導の充実を図っており、一様の取組を行っているわけではありません。

Q3 一つの小学校からいろいろな中学校へ進学する状況で、どのように小中一貫教育に取り組むのですか。

A3 小中一貫教育を進めるために、中学校1校と近隣の小学校1～3校で研究グループをつくり、28年度までに全中学校区で2年間の研究に取り組んできました。3年目以降は小中一貫教育実践校として取組を継続しています。9年間を見通した視点でカリキュラムを作成したり、小学生と中学生が交流したりして、どの小学校からどの中学校へ進学しても安定した学校生活を送れるよう、進学先にかかわらず、小中学校の接続に重点を置いた教育活動を実践しています。また、知的障害特別支援学級では、設置校である小学校と中学校を四つのブロックに分けて研究や実践を進めています。

Q4 同じ中学校へ進学するのに、同じ実践グループの小学校から進学する子供とそうでない小学校から進学する子供がいると、学習状況に差が生じてしまうのでしょうか。

A4 各小学校の状況に応じた取組が行われますが、学習指導要領に準拠して小中一貫教育を進めますので、学習内容や進度に差は生じません。



ねりまの 小中一貫教育

学力・体力
の向上

豊かな人間性・
社会性の育成

安定した
学校生活

ねりまの小中一貫教育は「授業改善による学力・体力の向上」「連携指導による豊かな人間性・社会性の育成」「滑らかな接続による安定した学校生活」の三つを通して、学習意欲の向上や自己肯定感の高まり、不登校の減少を目指しています。

小中一貫教育校および全ての小学校や中学校が、9年間を見通した小中一貫教育に取り組むことで、子供たちの力を高めていきます。

練馬区教育委員会

令和元年度の 小中一貫教育の取組

練馬区では、中学校1校と近隣の小学校1～3校で小中一貫教育実践グループをつくり、子供たちの交流や学習上の連携等を進めています。

このグループごとの研究は、平成23年度に10グループの中学校区から始めました。段階的に研究グループの指定を拡大し、2年間の研究期間終了後は、実践校として取組を継続しています。平成29年度には、小中一貫教育校を除く全ての小・中学校が小中一貫教育実践校となりました。

現在は各グループにおいて、連続性・系統性のある教育内容や教育方法の充実に係る研究を継続しています。

児童会・生徒会交流

生徒会役員が小学校に行き、中学校の紹介を行いました。



あいさつ運動

中学生が小学校に行き、小学生と元気な挨拶を交わしました。



合同授業

小学生が中学校に行き、中学生と一緒に授業を受けました。



乗り入れ授業

中学校の教員が小学校に行き、小学生に授業を行いました。



リトルティーチャー

中学生が小学校に行き、学習の補助をしたり一緒に活動したりしました。



連携教室の活用

小学生が中学校に設置した連携教室を使い、中学校生活を一日体験しました。



作品を通じた交流

小学生が中学校に行き、中学生の作品展示を見学しました。



特別支援学級の交流

小中学校の特別支援学級が合同で調理実習を行いました。



小小連携

同じ中学校に進学する小学校同士で交流を行い、親睦を深めました。



読み聞かせ

中学生が小学校に行き、グループに分かれて本の読み聞かせを行いました。



行事への参加

中学校の運動会に小学生が参加しました。



小中教員研修会

小中学校の教員が一緒に授業研究を行いました。



部活動体験

小学生が中学校に行き、様々な部活動を体験しました。



令和元年度以降のねりまの小中一貫教育は、これまでの成果を継承し、取組の継続と充実に努めていきます。